

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2023年12月11日（第1.0）

承認番号	23134
課題名	バレーボール女子日本代表チームの疾患調査
研究期間	西暦2023年12月19日（実施許可日）～2025年3月31日
研究の対象	2017～2021年にバレーボール女子日本代表に選出された選手
利用する試料・情報の種類	<p>■診療情報（詳細：年齢・身長・体重・ポジション・診断名（外傷障害とそれ以外（例：風邪、頭痛、蕁麻疹など））・治療内容・発症状況・発症機序・競技の離脱期間・画像診断結果・既往歴）</p> <p><input type="checkbox"/>手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：）</p> <p><input type="checkbox"/>血液</p> <p><input type="checkbox"/>その他（）</p> <p>■利用予定日（開始日2024年1月15日）</p> <p>※2017～2021年にバレーボール女子日本代表の国際大会に帯同した医師（研究責任者を含む）が診療した際の診療情報を用いる研究です。研究責任者がデータを集計・管理し調査を行います。</p> <p>研究責任者：小原和宏（旭川医科大学）</p> <p>既存資料・情報の提供のみを行う者：山口博（日本バレーボール協会ハイパフォーマンス委員会メディカルユニット 女子帯同責任者）</p>
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	スポーツ活動を過酷な状況下で行っているナショナルチームの選手達の疾患調査を行うことで、スポーツ愛好者からトップアスリートまでの外傷・障害予防につながると考えています。2017～2021年までバレーボール女子日本代表チームに医師が帯同したときに発症した外傷・障害、並びにそれ以外の疾患についての疾患調査を行う予定です。その結果を先行調査と比較検討し、発症に至るメカニズムと予防の考察を行うのが本研究の目的です。
研究の方法	2017～2021年にバレーボール女子日本代表の国際大会に帯同した医師の診療記録を用います。研究責任者が怪我の部位や発症機序（捻挫の仕方など）を集計します。重症度を分類するために、競技からの離脱期間や、診察に用いた画像診断（モバイルタイプの超音波診断装置など）も利用します。今回の調査結果と過去の研究を比較検討し、バレーボール競技におけるケガの予防を考察します。その結果を、スポーツ医学系の学会発表や論文投稿に用いる予定です。
その他	この研究は、関連のある特定の企業から資金提供は受けていません。また、この研究に関わる研究等と研究に関連のある特定の企業との間に開示すべき利益相反関係はありません。また、研究者は個人的な利益等のためにその専門的な判断を曲げるようなことは一切ありません。

お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者に不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>所在地：北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 旭川医科大学 担当者（研究責任者）所属・氏名：副学長付 小原和宏 電話番号：0166-68-2697</p>
---------	---